

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 3 部門第 2 区分
 【発行日】 平成 19 年 3 月 29 日 (2007.3.29)

【公開番号】 特開 2007-23015 (P2007-23015A)
 【公開日】 平成 19 年 2 月 1 日 (2007.2.1)
 【年通号数】 公開・登録公報 2007-004
 【出願番号】 特願 2005-298472 (P2005-298472)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 35/36 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/22 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/36

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/22

A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】
 【提出日】 平成 19 年 2 月 13 日 (2007.2.13)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】 特許請求の範囲
 【補正対象項目名】 全文
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ワクシニアウイルスを接種したウサギの炎症皮膚抽出液に糖アルコール及び／又はアスコルビン酸を加えて混合し、これを濃縮乾燥する該抽出液のカリクレイン様物質産生阻害活性を有する乾燥物の製造方法。

【請求項 2】

ワクシニアウイルスを接種したウサギの炎症皮膚抽出液を濃縮し、該抽出液が乾固する前に糖アルコール及び／又はアスコルビン酸を加えて混合し、これを乾燥する該抽出液のカリクレイン様物質産生阻害活性を有する乾燥物の製造方法。

【請求項 3】

ワクシニアウイルスを接種したウサギの炎症皮膚抽出液を、糖アルコール及び／又はアスコルビン酸の存在下に濃縮乾燥する該抽出液のカリクレイン様物質産生阻害活性を有する乾燥物の製造方法。

【請求項 4】

糖アルコールとして、マンニトール、マルチトール、ラクチトール、パラチニット及びソルビトールのいずれか 1 種又は 2 種以上を用いる請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の乾燥物の製造方法。

【請求項 5】

該抽出液の濃縮乾燥を 10 以下の pH にて行うことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の乾燥物の製造方法。

【請求項 6】

該抽出液の濃縮乾燥を pH 8.5 乃至 9.7 にて行うことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の乾燥物の製造方法。

【請求項 7】

ワクシニアウイルスを接種したウサギの炎症皮膚抽出液に糖アルコール及び／又はアスコルビン酸を加えて混合し、これを濃縮乾燥して得られる該抽出液のカリクレイン様物質産生阻害活性を有する乾燥物。

【請求項 8】

ワクシニアウイルスを接種したウサギの炎症皮膚抽出液を濃縮し、該抽出液が乾固する前に糖アルコール及び／又はアスコルビン酸を加えて混合し、これを乾燥して得られる該抽出液のカリクレイン様物質産生阻害活性を有する乾燥物。

【請求項 9】

ワクシニアウイルスを接種したウサギの炎症皮膚抽出液を、糖アルコール及び／又はアスコルビン酸の存在下に濃縮乾燥して得られる該抽出液のカリクレイン様物質産生阻害活性を有する乾燥物。

【請求項 10】

糖アルコールとして、マンニトール、マルチトール、ラクチトール、パラチニット及びソルビトールのいずれか 1 種又は 2 種以上を用いる請求項 7 乃至 9 のいずれか 1 項に記載の乾燥物。

【請求項 11】

該抽出液の濃縮乾燥を 10 以下の pH にて行うことを特徴とする請求項 7 乃至 10 のいずれか 1 項に記載の乾燥物。

【請求項 12】

該抽出液の濃縮乾燥を pH 8.5 乃至 9.7 にて行うことを特徴とする請求項 7 乃至 10 のいずれか 1 項に記載の乾燥物。

【請求項 13】

ワクシニアウイルスを接種したウサギの炎症皮膚抽出液を濃縮し、該抽出液が乾固する前に少なくとも 1 種の糖アルコール又はアスコルビン酸を含む賦形剤を加えて練合し、これを造粒乾燥して得られる該抽出液のカリクレイン様物質産生阻害活性を有する乾燥顆粒。

【請求項 14】

ワクシニアウイルスを接種したウサギの炎症皮膚抽出液を濃縮し、該抽出液が乾固する前に少なくとも 1 種の糖アルコール又はアスコルビン酸を含む賦形剤を加えて練合し、これを造粒乾燥して得られる乾燥顆粒を用いて製造した、該抽出液を有効成分として含有するカリクレイン様物質産生阻害活性を有する経口用固形製剤。

【請求項 15】

錠剤である請求項 14 記載の経口用固形製剤。

【請求項 16】

ワクシニアウイルスを接種した家兎の炎症皮膚抽出液を濃縮し、該抽出液が乾固する前に少なくとも 1 種の糖アルコール又はアスコルビン酸を含む賦形剤を加えて練合し、これを造粒乾燥して得られる乾燥顆粒を用いて製造することによる、該抽出液を有効成分として含有するカリクレイン様物質産生阻害活性を有する経口用固形製剤の製造方法。

【請求項 17】

ワクシニアウイルスを接種した家兎の炎症皮膚抽出液を濃縮し、該抽出液が乾固する前に少なくとも 1 種の糖アルコール又はアスコルビン酸を含む賦形剤を加えて練合し、これを造粒乾燥して得られるカリクレイン様物質産生阻害活性を有する乾燥物。

【請求項 18】

ワクシニアウイルスを接種した家兎の炎症皮膚抽出液を濃縮し、該抽出液が乾固する前に少なくとも 1 種の糖アルコール又はアスコルビン酸を含む賦形剤を加えて練合し、これを造粒乾燥して得られるカリクレイン様物質産生阻害活性を有する乾燥顆粒。

【請求項 19】

ワクシニアウイルスを接種した家兎の炎症皮膚抽出液を濃縮し、該抽出液が乾固する前に少なくとも 1 種の糖アルコール又はアスコルビン酸を含む賦形剤を加えて練合し、これを造粒乾燥して得られる乾燥顆粒を用いて製造することによる、該抽出液を有効成分とし

て含有するカリクレイン様物質産生阻害活性を有する経口用固形製剤。